

# 平成 21 年度事業報告書

(自平成 21 年 4 月 1 日 至 平成 22 年 3 月 31 日)

## 1. 事業の実施

### (1) 学術研究誌の発行 (公益目的事業 1: 調査、資料収集事業)

平成 21 年 12 月「海事交通研究」(年報) 第 58 集 (A4 版、135 頁) を発行し、研究者、図書館、海事関連企業・団体等 290 箇所配布しました。

### (2) 財団ホームページのコンテンツ充実 (公益目的事業 1: 調査、資料収集事業)

当財団の事業である山縣勝見賞の募集広告や決定のニュース、「海事交通研究」(年報) の執筆者募集広告や発行のニュースについて掲載するとともに、「海の月間」、「海の日」や「太平洋戦争と日本商船隊の壊滅」についてのトピックスを掲載しました。又、年報目次集や「海と船の Q&A」のリニューアル等を行い、ホームページのコンテンツ充実に努めました。

### (3) 財団蔵書の整備・活用 (公益目的事業 1: 調査、資料収集事業)

財団蔵書の整備を図り、海事研究者の閲覧に供しました。

### (4) 2009 年山縣勝見賞の授与 (公益目的事業 2: 表彰事業)

2009 年山縣勝見賞が次の通り決定しました。7 月 15 日海運クラブにて受賞者、関係者を招いて贈呈式を行いました。

- ・ 著作賞：(株)商船三井海法ゼミナール編・監修 中村眞澄氏  
『最新海事判例評釈第Ⅲ巻』(海法研究所、2008 年 3 月)
- ・ 論文賞：逸見 真氏執筆「便宜置籍船論」(信山社、2006 年 12 月)
- ・ 功労賞：北見 俊郎氏

### (5) 海事関係学会や団体、その他関係先、並びに海事研究者へのより一層の支援と協力強化 (公益目的事業 3: 助成事業)

① 青少年の海や船に対する関心を高揚するための施策として賛助会員となっている(社)日本船長協会及び(社)日本海洋少年団連盟に加え、新たに(社)日本船舶機関士協会へ賛助会員として入会し、同協会の行う事業を支援しました。

② (社)日本海洋少年団連盟の主催する「我ら海の子展」を後援し、その贈呈式(8 月 21 日)に宮都理事長が出席して「山縣記念財団理事長賞」を贈呈しました。

③ 早稲田大学海法研究所の寄付金募集趣旨に賛同して寄付を行いました。

④ 各学会のセミナーに出席し、海運関係研究者との交流に努めました。

### (6) 公益財団法人への移行に向けての総合的環境整備の推進

① 平成 21 年 6 月 11 日から 8 月 6 日まで毎週木曜日、「認定申請はやわかり塾」研修会(公益財団法人 公益法人協会主催)に参加し、平成 20 年度会

計基準に則した事業仕分や新定款作成のシミュレーションを行いました。

②平成 21 年 7 月 8 日、ペリージョンソン社に当財団の現状分析を依頼、分析結果レポートを 11 月 9 日に受け取りました。

同レポートによると、基本的に当財団が公益認定を得るために特に障害となるものは見当たらないが、年報の執筆者募集や助成先の募集に当たっては、山縣勝見賞と同様、不特定多数に門戸を開く必要があるとの指摘を受け、早速、「海事交通研究（年報）への投稿募集及び編集に関する規程」（平成 22 年 1 月 1 日施行）並びに「海事交通文化の調査研究並びにそれに関連する事業に対する支援・助成に関する規程」（平成 22 年 4 月 1 日施行）を制定し、年報掲載作品編集委員会と助成審査委員会を設置して、体制を整えることとなりました。

## (7) 財団設立 70 周年記念事業企画・立案

①財団設立 70 周年記念祝賀会を記念日当日の平成 22 年 6 月 3 日に開催することを決定し、準備を開始しました。

②記念事業の一環として、山岸寛理事に、日本海運の 70 年史に関する著作の執筆を依頼し、現在原稿執筆進行中であります。

## 2. 理事会・評議員会等の開催

### (1) 平成 21 年 5 月 22 日（金）評議員会及び通常理事会開催

次の事項について審議し、それぞれ原案の通り承認されました。

- ① 平成 20 年度事業報告・決算及び監査終了報告
- ② 理事及び監事の選任の件
- ③ 「2009 年山縣勝見賞」受賞者について、選考委員会より理事会に答申があり、答申の通り決定しました。
- ④ （社）日本海洋少年団連盟主催「我ら海の子展」後援の件
- ⑤ 財団設立 70 周年記念事業の件
- ⑥ 「海事交通研究」（年報）第 58 集について
- ⑦ 公益認定取得のためペリージョンソンコンサルティング社とコンサルティング業務委託契約を締結する件

### (2) 平成 21 年 7 月 3 日（金）臨時理事会開催

次の事項について審議し、それぞれ原案の通り承認されました。

- ① 理事長及び常務理事を選出。
- ② 財団創立 70 周年記念事業について

### (3) 平成 21 年 12 月 25 日（金）臨時理事会開催

次の事項について審議し、それぞれ原案の通り承認されました。

- ① 山縣勝見賞表彰規程改定について
- ② 山縣勝見賞選考委員会委員の任期延長について  
(4 月 1 日より 6 月 30 日まで 3 か月間延長)
- ③ 「2010 年山縣勝見賞」募集・実施要領について
- ④ 役員の報酬並びに費用に関する規程制定について

⑤ 「海事交通研究」(年報) 投稿募集及び編集に関する規程制定について

(4) 平成22年1月8日(金) 役員・評議員懇談会開催

次の事項について報告し、懇談しました。

- ① 財団の3事業：年報、山縣勝見賞、助成事業について
- ② 財団の今後の方向性

(5) 平成22年3月17日(水) 通常理事会開催

次の事項について審議し、それぞれ原案の通り承認されました。

- ① 平成22年度事業計画及び予算の件
- ② 評議員選任について
- ③ 海事交通研究(年報) 掲載作品公募の件及び年報掲載作品編集委員会委員選任の件(4月1日より2年間)
- ④ 支援・助成に関する規程制定及び助成審査委員会委員選任の件(4月1日より2年間)
- ⑤ 常勤研究員(2名) 採用の件
- ⑥ (社) 日本海洋少年団連盟よりの平成22年度「我ら海の子展」に対する補助金交付申請の件
- ⑦ 2010年山縣勝見賞応募状況について中間報告
- ⑧ 費用別経理処理取扱細則改定の件

(6) 平成22年3月30日(火) 評議員会開催

次の事項について審議し、それぞれ原案の通り承認されました。

- ① 平成22年度事業計画及び予算の件
- ② 理事選任の件
- ③ 評議員選任について報告
- ④ 海事交通研究(年報) 掲載作品公募の件及び年報掲載作品編集委員会委員選任について報告
- ⑤ 支援・助成に関する規程制定及び助成審査委員選任について報告
- ⑥ 財団設立70周年記念誌発行及び祝賀会について報告

### 3. 2009年及び2010年山縣勝見賞選考委員会の開催

(1) 2009年山縣勝見賞選考委員会

平成21年4月24日(金) 開催

慎重審議の結果、受賞候補を選定し、理事会に答申することを決定しました。

答申の内容は、前述の1. 事業の実施(4)の通りです。

(2) 2010年山縣勝見賞選考委員会

平成21年11月13日(金) 開催

賞選考に当たっての留意点などについて協議しました。

以上